

第3回令和5年度佐倉路地裏探検隊探索  
—西部自然公園・生谷・真野台・光勝寺地区—

令和5年6月14日（水）



# 佐倉路地裏探検隊

## 1. 上座貝塚；（佐倉市資料より）

上座貝塚は印旛沼に注ぐ手繰川（たぐりがわ）左岸の標高約25mの台地上に所在する。貝層は直径約60mの範囲に点列状に分布していたで、現在では京成電鉄の線路により南北に分断されている。発掘調査は、昭和32年（1957）に明治大学、昭和60年（1985）及び平成9年（1997）には佐倉市教育委員会、平成4年（1992）には（財）印旛郡市文化財センターにより実施された。これらの発掘調査成果では、約7,000年前の縄文時代早期末の茅山式土器やその時期の竪穴住居跡、炉穴などが検出されている。貝層は、マガキ・ハイガイが主体となりハマグリ・アカニシ・オキシジミなどが混在する内湾性の貝による貝塚であり、獣骨・魚骨類の出土はほとんど見られない。昭和32年（1957）の発掘調査では、茅山下層式期の竪穴住居跡と炉穴が検出されたが、特に炉穴は煙道部が遺存しているものが検出されたことによって、炉穴の使用方法が、地面を掘り込んでその中で調理などを行うものであったことが明らかとなり、その後の縄文時代早期の研究に大きく寄与した。また、この貝塚は印旛沼水系において定住的生活が始まる縄文時代早期末の代表的遺跡でもあり、住居と炉穴の関係を知る上でも注目される

なお市内では、印旛沼周辺とそれに注ぐ河川沿いに遺跡が濃密に分布しています。市内最古の土器が見つかった岩富漆谷津遺跡、印旛沼が海だった頃の様子を物語る上座貝塚（県史跡）や間野台貝塚、漁労集団が住んでいたとみられる吉見稻荷山遺跡、環状盛土を伴う井野長割遺跡（国史跡）、200軒以上もの竪穴住居跡が見つかった宮内井戸作（みやうちいどさく）遺跡、長軸19メートルもの巨大な竪穴建物（臼井南中学校内に保存）や700点もの大量の土偶を有する吉見台遺跡、夥しい量の土器が散っている遠部台（とおべだい）遺跡など、注目すべき遺跡や遺物が多数あります。





2. 西部自然公園の草花 (「山野草と小径の会」資料による)

春に出会える山野草

アケボノスミレ

ニリンソウ

タネツケバナ

タチツボスミレ

カントウタンポポ

オランダミミナグサ

ウラボシソウ

ムラサキバナ

ヒトリシスカ

ノハコグサ

ノミノフスマ

アメリカワウロ

オオジシバリ

キンラン

キンラン

ヒメカンゾウ

ノハナショウブ

MEMO

---



---



---

【(仮称) 佐倉西部自然公園 観察花リスト】 ☆: 写真をご覧ください

名前	4月	5月	6月	7月	8月	9月
アケボノスミレ	○	○	○			
ニリンソウ	○	○	○			
タネツケバナ	○	○	○			
タチツボスミレ	○	○	○			
カントウタンポポ	○	○	○			
オランダミミナグサ	○	○	○			
ウラボシソウ	○	○	○			
ムラサキバナ	○	○	○			
ヒトリシスカ	○	○	○			
ノハコグサ	○	○	○			
ノミノフスマ	○	○	○			
アメリカワウロ	○	○	○			
オオジシバリ	○	○	○			
キンラン	○	○	○			
キンラン	○	○	○			
ヒメカンゾウ	○	○	○			
ノハナショウブ	○	○	○			

ホタルブクロ

ノアザミ

ナルコユリ

ムラサキカタバミ

ジュウニヒトエ

コヒルガオ

イチリンソウ

イカリソウ

エヒネ

シヤク

フデリンドウ

～秋に出会える山野草

アオツツラシ

アキノタムラソウ

イカホウスキ

イヌキクイモ

ウリカワ

オモダカ

カラスウリ

キクイモ

キツネノカミシリ

キンミスヒキ

グンノショウコ

コナギ

コバキボウシ

タケニグサ

チョウジタデ

ツルホ

トキワハゼ

MEMO

---



---



---

【(仮称) 佐倉西部自然公園 観察花リスト】 ☆: 写真をご覧ください

名前	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
アケボノスミレ														
ニリンソウ														
タネツケバナ														
タチツボスミレ														
カントウタンポポ														
オランダミミナグサ														
ウラボシソウ														
ムラサキバナ														
ヒトリシスカ														
ノハコグサ														
ノミノフスマ														
アメリカワウロ														
オオジシバリ														
キンラン														
キンラン														
ヒメカンゾウ														
ノハナショウブ														

ナンテンハギ

ヌスビトハギ

ノダゲ

ヒヨドリバナ

ヒレタコボウ

ヘクリカスラ

ミスタマソウ

ミソソバ

ヤブミヨウカ

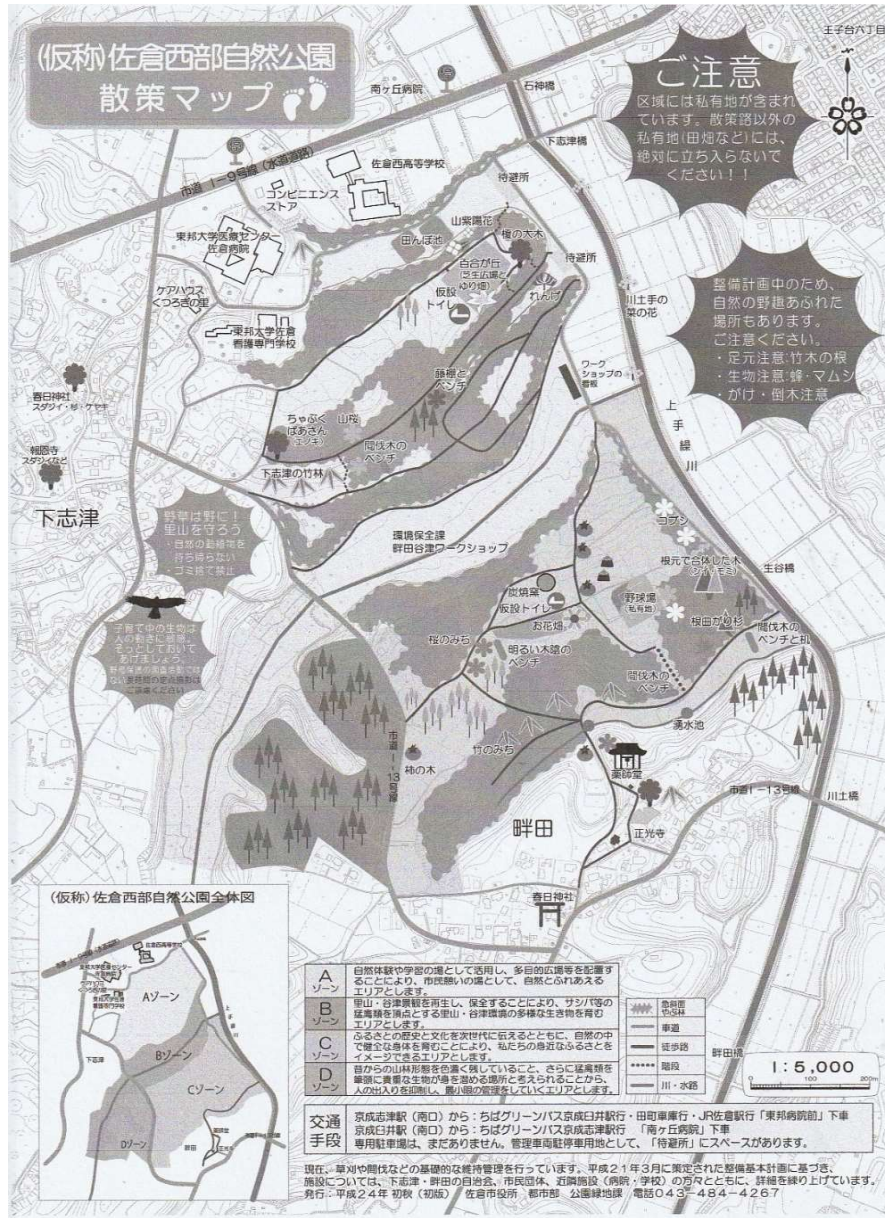
ヤブラン

ヤマハギ





### 3. 佐倉西部自然公園の概要



### (仮称) 佐倉西部自然公園計画理念 2008年3月21日

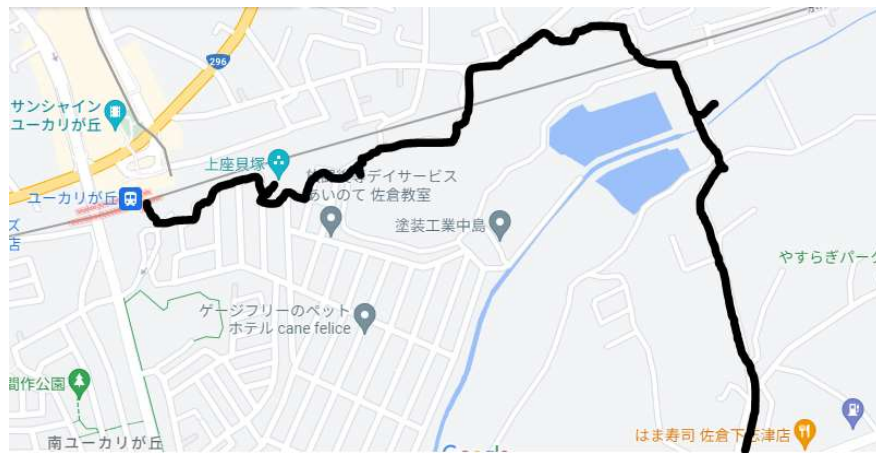
#### 私たちがつくる21世紀の里山自然公園

1. 里山・谷津の景観を保全・再生する
2. 農林業によって育まれてきた多様な生き物を保全する
3. 身近なふるさとと歴史と文化を次世代に伝える
4. 私たちの身近なふるさとを市民とともに作りあげる
5. 自然と人々とのふれあいをとおして健全な身体を育む
6. 地球環境を考え私たちのできることを学び実践する

佐倉市と関係する団体・ボランティアとの会議議事録を見る限り、佐倉市としてこの公園の計画理念に基づき、あく迄自然のままに、出来るだけ手をかけずにこの地域に生存する動植物を生存させる。民有地も余り好き勝手に出来ない事もあるようです。Cゾーンを中心地としBゾーンを野生植物園の位置づけとすようです。駐車場も大段的に整備せず、トイレも現在2,3箇所ある簡易トイレで十分。草刈もクラウドファンディング使用して今年度で終了。後は市民やボランティアにお願いしたいようです。これらトイレ・駐車場・ベンチ等施設や定期的草刈実施等佐倉市側に申し出しているようですが余り進展していない様子。積極的に市外・県外には宣伝せず、最低限の施設は置くが、あるがままの状態での公園にしたいようです。それでも草刈を定期的の実施しなければ又荒地になってしまう事明々白々なのですが。佐倉市は予算不足でこんな事しか出来ないのですね。残念です!!



#### 4. 散策マップ (全体図)



I



3



2





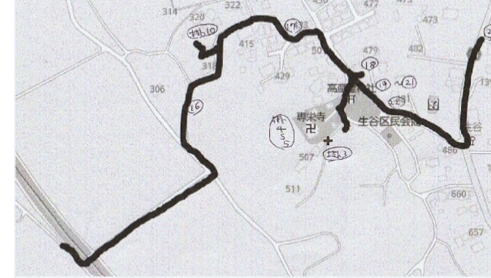
5. 散策マップ (詳細図)



1



2



3



4



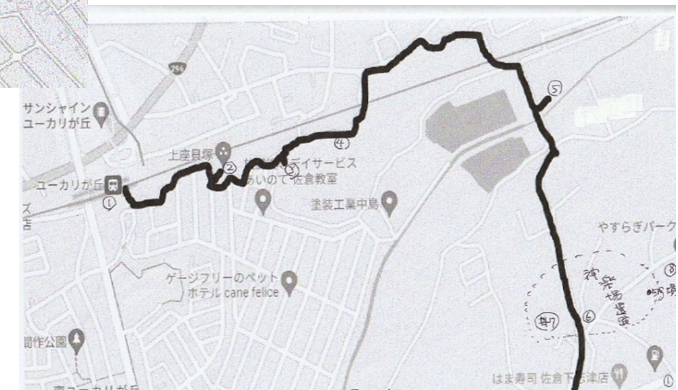
5



6



7



8













## 地区スポット説明

1	2	3	4
ユーカリが丘駅(南口)	上座貝塚	水神社	坂(仮称 <small>シヨクサンザカ</small> 殖産坂 )
			
<p>昭和57年11月1日請願駅として開業。当時は相対式ホーム2面2線。11月2日山万ユーカリが丘線で中学校駅まで開業翌58年9月22日に全線開業。平成8年7月20日上り線に待機線を設置1番線とする。2面3線構造となる。平成10年9月ウィンシュトンホテル開業、平成11年3月北口にペDESTリアンデッキ完成【駅開業時代の駅舎付近はここに改築】南北間が行き来出来るようになった。又志津駅寄りの跨線橋も巾が広く且つユーカリが丘駅に近づけられた。2121年度乗降客1日16,626人で69駅中21位。但し佐倉市にある4駅のうち1位である。快速特急ははまだ止まらず(1日辺り5万人程の乗降客が必要か?)</p>	<p>海拔25m程の台地にある縄文早期の小貝塚群である。京成電鉄軌道で南北に分断されている。竪穴住居跡2軒と火を炊いた炉穴7基が発見され、縄文早期後半の土器が出土。住居跡に炉はなく、屋外の炉穴(ろけつ)で調理。楕円形の炉穴は直径約2m・短径約1mの規模で、深いものには煙を出す為の煙道を供えた炉穴もあり。貝塚は竪穴住居跡や炉穴等の窪みに打てられ貝殻が溜まった物。上座貝塚の貝は、マガキ・ハイガイを主体にオキシジミ・ハマグリ・シオフキ等の海水産の貝類で構成され、当時はこの辺りが海が迫っていた事が分かる</p>	<p>殖産住宅の外れの一角に古くから祀られている水神社です。造立年は江戸末期</p>	<p>約4度、87m程の坂。殖産住宅が開発した広域住宅地の為名づけしました。小字じは一番原です。殖産住宅からこの坂を上り、京成線の跨線橋を渡って志津小学校への中学路になります</p>
			



5	6	7	8
<p>浅間神社</p>	<p>馬頭観音</p>	<p>坂 (仮称 <small>ミヤシタザカ</small> 宮下坂)</p>	<p><small>タケショウジ</small> 竹小路 (私の好きな小道の一つ)</p>
			
<p>上座から宝樹院の方向に、途中右側に大きく下る坂(鎌の作坂)があります。線路手前右上に神社はあります。社の中には「仙元大菩薩」造立は明治5年(1872)です。社右側左から3番目には「道了大権現」と刻字。小田原から箱根最乗寺線に乗り最乗寺へ。同寺の守護道了大薩埵(さつた。菩薩の意)、満願成就の道了大薩埵と謂われています。曹洞宗、大天狗・小天狗はこの寺に伝わる</p>	<p>神楽場遺跡入口の三差路角地の畑の中に1基馬頭観音兼道標があります。文政6年(1823)像立で、右佐倉道 左上座道と刻字</p>	<p>東邦大佐倉病院手前から約180m左折し四街道の東関道沿いに行くT字路までのなだらかな波打つ坂です。約3度程のでこぼこ坂道</p>	
			



9	10	11	12
下志津の庚申塔	畑の中の石仏群	風邪の木(ちゃぶく婆さん)	西部自然公園1
			
<p>本来なら2基庚申塔が並んでいるのですが、。左側の庚申塔が階段途中迄落ちています。一人では持ち上がりません。左側は元文元年(1740)1月造立、邪鬼の顔が上を向いています。右側は笠を下ろされていますが、寛政12年11月(1800)造立の庚申塔です。草刈がすんでいなくて、つつい見落としがちです</p> 	 	<p>志津地区では上座公園東口に風邪の神様(ご本体は上部竹林の中にはあります。此処は下志津の風邪の神様(ちゃぶく婆さん=”おちやのみ婆さんの意?)えのきの古木で竹筒がぶら下がっています。幹自身の形状もまた興味がひかれます。子供が風邪を引くとこの神様に御祈りしました。合わせ悪病・疫病・不審者等を村の中に入らないようにという意味で祀られています</p> 	 



13	14	15	16
西部自然公園2	西部自然公園3	畦田沢	坂(仮称 <sup>ムカエジザカ</sup> 迎地坂 )
			
		<p data-bbox="1115 772 1603 962">1級河川手繰川の支流のひとつ。佐倉南小学校、小田急ゴルフ練習場、四街道市大日今宿バス停奥が源流です。手繰川本流は四街道小体育館付近が源流です。この畔田沢の入口付近は昔懐かしい小川風景。中流・下流は水田や湿地帯になっており管理はされていないのは残念です</p> 	<p data-bbox="1608 772 2085 826">約225m、7度程。辺田道から大師堂(観音堂)の前へ出る坂です。小字から名付けました</p> 
 <p data-bbox="327 1422 450 1442">エビ不蘭?</p>			



17	18	19	20
<p>大師堂兼観音堂</p>	<p>生谷屋敷跡</p>	<p>皇産霊神社1</p>	<p>皇産霊神社の珍しい狛犬(狐)</p>
			
<p>鏡宝寺十善講の43番札所です。この社は大師堂と謂われたり観音堂と謂われたりします。お大師さんと観音さんが共に祀られているようです</p> 	<p>皇産霊神社のやや左側手前に戦国時代から近世初期の70X70mで郭、土塁で成り立つ在地の小土豪の館跡があったようです。武田信玄が生谷城を起点として臼井城を攻めた頃の時期にあわせていただければ・・・</p> 	<p>地元の産土である皇産霊(たかむすび)神社です。南北朝時代の観応元年(1350)創建。安永6年(1777)再建、(明治維新前は十六天社と称し、明治4年に皇産霊神社と改称。境内には境社として八坂神社(天王様;文政2年=1819)、金毘羅社(寛政元年=1789)、子安神社(慶長14年=1609)、天満宮(元禄4年=1691)、疱瘡神社(天和2年=1682)等が祀られています。他に庚申社、猿田彦神社も祀られています。</p> 	<p>2代目江戸京橋太刀売石工 工藤藤兵衛門下の包吉作(2代目)です。嘉永3年(1850)造で狛犬(稲荷神社ではありませんが狐です)小野付け根に花押が付けられ得ています(右側は和化座右。左の狐の背中に花押が)、包吉は3代続きましたが2代目作は、松戸の松戸神社・赤坂の氷川神社・加須の千方神社・鋸南町の第六神社等・館山の八雲神社作です。意外と知られていない史実です</p> 



21	22	23	24
皇産霊神社3	Y字路の稲荷社	2基の庚申塔と2基の馬頭観音	生谷花口の裏道1
			
<p>掲題には沢山の石像物があります。社日様、富士溝、大杉神社社、各種記念碑、古峯神社等が整備され並んでいます</p> 	<p>稲荷社か道祖神か迷う処です。ちよど旧道のY字路。生谷地区のは道祖神が見当たらないので。だけれども笠等から見て稲荷社に。刻字が摩耗して見当たらず。赤外線カメラ等を使用すれば分かるのですが</p> 	<p>左側2基が庚申塔、右側2基が馬頭観音計4基整然と並んでいます。左側の庚申塔は造立元文5年(1740)、2番目は万延元年(1860)造立。左側から3番目の馬頭観音は享保17年(1732)、一番右の馬頭観音は宝暦11年(1761)造立の馬頭観音です。江戸時代中期と後期の刻像石仏です。それぞれあった場所からこの地に纏められ供養されています</p> 	<p>因みにこの石像仏群の横の道を直進すると染井野地区に下りる坂があります。意外と知られていない道です。入口付近の道幅は旧道でもあるので道幅は狭いですが、台地からそめいのに抜ける坂は新道の為道幅は広いです</p> 



25	26	27	28
生谷花口の裏道2	大林の道標	木戸作の裏道	山の神神社
			
<p>光勝寺下の踏切を左折すると成田街道、そのまま直進すると生谷經由千葉方面に出る県道64号線になります。この県道に並行してこの裏道があり、成田街道のバイパスの王子台入口付近に出ます。恐らくこちらが本来の古道に思います</p> 	<p>王子台いる愚痴付近の大林バス停近くに15～20cm程の石のかけらがあります。よく見ると正面には「南 ○○○」・右面には「右さくら○○」・左面には「左白井○○」と刻字されています。正しく道標です。元々この付近にあったものとは思われますが、新道出来る時に子の場にうつされたのでしょうか。下半分があればより正確に判断できるのですが。南の下には恐らく生谷、千葉等が刻字されていたのでは？</p>   	 	<p>祭神は大山祇命(おおやまつみのみこと)伊弉諾と伊弉冉の間に生まれた子供で、木花昨夜姫の父親です。山をつかさどる神です。一般的には”山の神”として信仰されています。延享3年(1746)堀田正亮(まさすけ)が出羽山型より佐倉に移封された時移築された。明治18年(1885)山林が生谷に払下げされた時に社が建てられた。文化7年頃(1810)雷電為右衛門が白井にいた頃、雷電は境内に土俵を作り相撲の指導をしたと謂れています。その頃雷電の弟子で生谷に住んでいた相撲取り「天の川」が後援者の方から力石を持ち上げたらこの力石(120kg)をあげると謂れ持ち上げて庭石にしたと謂れています。その御転居等があり、元の神社の方に戻されたそうです</p> 



29	30	31	32
光勝寺1	光勝寺2	光勝寺3	印旛沼遠望1
			
<p>白井山光勝寺。元は真言宗でしたが、白井四郎祐胤が遊行寺2世他阿眞教上人に帰依し時宗に変更。暦應年寛(1338から1342)白井興胤が円應寺を創建するまで白井氏の祖白井常康の菩提寺であった。円應寺創立で、白井氏の加護もかってほど得られなくなり衰えました。境内には瓢箪塚古墳(前方後円墳・墳長18m)新設の閻魔堂と梵鐘等がある。下段から本堂を移設。新築されたのは3年程前か？</p> 	<p>閻魔堂</p> <p>かつて閻魔様のお首が印旛沼を漂着したのですが、光勝寺の末寺で廃寺になった青蓮寺(場所が分かりません。何処だ！)に祀られていたものです</p> 	<p>初期白井氏の墓石が5基並んでいます。初期の白井氏とは？色々な資料を探したのですが詳細は不明です。中には馬頭観音(1857造)、庚申塔(享保元年・1716造)等もあります</p> 	
<p>口元から出てくる仏像が無くなっている！</p>			



33	34	35	掛番1
印旛沼遠望2	成田海道の道標群	京成臼井駅(南口)	神楽場遺跡と4号墳
			
	<p>左から道標・道標・六十六部供養塔・墓石の4基あります。左から文化3年(1806)正面 西江戸道、左面 東成田道、右面 南飯重生谷路、背面に造立年。2番目は正面に弘法大師座像 さくら道 願主文太郎 土台に多数のお名前。造立年の刻字はありません。道標ですので、この付近にあったものを整備されたのでしょう。六十六部全国66カ所の一宮(実際は異なる場合が多い)の法華経等の移しを納めています。本人が行く場合と、時に請負いで商売として行く場合もありますが、江戸の中・後期になると途中で結摺り他狩りを行うようになり幕府より禁止されました。満願成就、途中で病で行き倒れ等も含めて本人、知合い等が多くは墓地内に供養塔を建てました</p>		<p>公園墓地にのみ4号古墳を含めて神楽場遺跡を案内されていますが、周囲の畑全体が神楽場遺跡です。今から4千年前の縄文中・後期・晩期、古墳時代中・後期の集落跡です。竪穴式住居跡は計20軒(縄文中期19軒、奈良・平安時代1軒)、土坑16基(縄文中期14基、奈良・平安時代2基)、古墳周溝1条(神楽場4号墳)、多くの翡翠の玉や原石も発掘されました。土器の破片、貝殻等畑の中に一杯です。残念ながらこの遺跡は十分な発掘調査をされていません。</p>
			

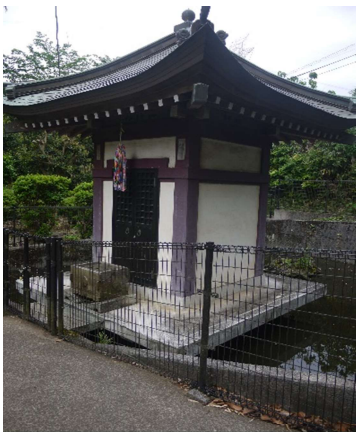


掛番2	掛番3	掛番4	掛番5
-----	-----	-----	-----

生谷発祥地記念碑



ポックリ弁天



専栄寺



専栄寺石仏群



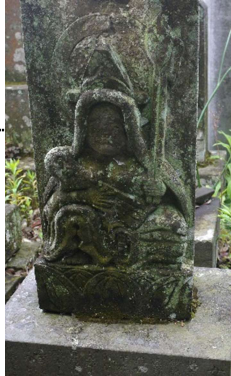
約340年程前に専栄寺が村人の協力を得て、弁財天を祀っていた場所は生田の最も古い水源です。生谷の地名発祥地と謂れています

約340年程前に専栄寺が村人の協力を得て、弁財天を祀っていた場所は生田の最も古い水源です。生谷の地名発祥地と謂れています。弁財天(ポックリ弁天)は昭和51年(1986)土地区画整理事業で専栄寺の隣接地に移された。加茂大明神の石祠が、敷地の奥に麻売られています。古来賀茂氏の氏神様。京都の上賀茂・下賀茂神社が本社です。何故この場に。どなたかが勧請されたのでしょうか

真言宗豊山派。井野千手院末寺。ご本尊は阿弥陀如来。本殿右側手前に観音堂、その先は鍵がかかっていますが鏡宝寺十善講の番大師堂と思われます。門前の子安観音、聖観音そして秩父巡拝供養塔が多数並んでいます。表情や姿態は一つ一つ興味を引きます。じっくりお参り下さい。なお、専栄寺は団体の観光客のお参りをお断り!!宗教的なお参りのみ許されます。要注意です



観音堂





掛番7	掛番8	掛番9	掛番10
神楽場遺跡踊場跡	神楽場遺跡近くの道祖神	しづの里(下志津の蕎麦屋)	生谷の浅間神社と八幡神社
			
<p>右側の畑の中に踊り場(人形塚とか、舞台等とも)があります。その踊り場の中には稲荷神社にお小さな祠があります。この舞台上で色々な祭事が催す場所でないかと推測されます。人形を埋葬して供養する場所とは考えられません</p> 	<p>霊園入口前の坂を少し下った右側の樹下に小さな道祖神の石祠があります</p> 	<p>週2回開店の蕎麦屋です。コーヒー等も飲めますが予約必要。繁盛しています。そのお店やその周辺の建物・庭づくりは田舎風に造られています</p>  	<p>浅間神社と八幡神社の社そのものもほぼ同じで造立年も新しく昭和??片や富士山信仰、片や昔は武の神様。現在は出世や家庭安穩等なんでもござれの神様です。墓地の手前の小道を通り途中右俺志直進・突き当りが浅間神社。そこを右折し奥に八幡神社があります</p> 